雨空吹き飛ばす激闘

区民体レク大会に3千人

市岡連合が10年ぶりV

港区最大の体育イベント「港区民体育レクリエーション大会」が十月二十三日、港中学校で行なわれました。五十四回目。応援も含め推計約三千人が参加。

雨模様の空の下、開会式では各選手団が工夫を凝らした扮装で入場。主催の港区体育厚生協会・望月文子会長と田端尚伸・港区長は「雨でもやろう」という区民の熱意に感謝を表明。池島連合の宮本隆司さんと冨岡洋子さんが「楽しみながらも勝負にこだわり戦い抜く」と宣誓しました。

午後には雨も降り出す中、二人三脚、アメフットリレー、むかで競走など日頃の地域の結束が問われる競技が次々と進行。着ぐるみや太鼓や大団扇を使った応援は大会を一層盛り上げ、最後の混合リレーでは声援が最高潮に達しました。

★大得点種目を制しV

激戦を制したのは市岡連合。各種目での安定した戦いぶりと共に、大得点の大縄跳びと玉入れを制したことが物を言い、十年ぶりの栄冠。副会長の岩本嘉介さん（八〇）は「市岡小で四回ほど、大得点競技を重点に練習しました。地域全体で力を合わせた結果です」。

市岡と最後まで大接戦を演じた磯路は三連覇ならずも準優勝。以下、③池島④築港⑤波除⑤弁天⑦三先⑦港晴⑨田中⑩南市岡⑪八幡屋―の順。

★失敗もまた楽し

初出場だった佐藤由香さん（三二）（南市岡）は「大縄跳びで引っ掛かったり混合リレーで抜かされたりと失敗もありましたが、とても楽しかったです。娘の舞奈（六年生）は小学生混合リレーに、碧海（一年生）はボール送りリレーに出ました。この大会は地域の色んな方と交流できる素晴らしい催しです。次も出場したいけど、お声がかかるかな？」と話していました。

3000人が熱戦をくり広げた港区民体育レクリエーション大会（写真は最後を飾った混合リレーの激走）

接戦の末の10年ぶりVに沸く市岡連合の選手・応援団

イチョー未到のV11

ふれあいソフト12チーム熱戦

「地域ふれあいソフトボール大会」が十月二十三日、八幡屋公園多目的広場で開催され、十二チームが熱戦を繰り広げました。毎春秋に開かれ二十九回目。

A組（前回上位六チーム）では築港クラブとイチョークラブが決勝で激突。イチョーは三回に相手ミスで得た一点を死守。最終回の反撃もかわし一対〇。未到の十一度目優勝を果たしました。バントや走塁を絡めた繋ぎの打撃、竹島・苫谷の二投手を盛り立てた完璧な守備が光りました。

宮久保和宣監督、大川勝主将らは「亡き樋口さんの教えを守り、どこにも負けないチームワークと練習に自信を持って戦った。全試合で守り勝つうちのパターンに持ち込めたのがよかった」と話していました。

B組（前回下位六チーム）決勝では波除クラブが南市岡OBを十二対五で降し優勝。伊藤監督、西沢主将らは「初戦の圧勝で波に乗れた。練習試合の積み重ねが生きた」と話していました。

閉会式では秋田大会本部長、寺尾審判委員長らが、港区のソフトボール愛好者の親睦の場として同大会を継続・発展させていこうと呼びかけました。

11度目優勝のイチョークラブ（後列右端は寺尾審判委員長）

B組優勝の波除クラブ（後列左右は大会役員の一部）

ごちそうマラソンに650人

町と商店街アピール

入舟公園を次々と笑顔でスタートする選手たち＝10月23日午前

「目に、おなかに、心にもごちそう」をコンセプトに、交通法規を守って歩道を走るユニークなイベント「大阪ごちそうマラソン」が十月二十三日、港・此花・西区を舞台に行なわれました。実行委と八幡屋商店街の共催で二回目。

今にも泣き出しそうな空の下、入舟公園では午前十一時、合唱などのセレモニーの中、柿色ユニフォームの六百五十一人が二十数組に分かれ、「全員完走するぞ！」と気勢を上げて出発。順番を待っていた初参加の橋本彰子さん（五七）（住之江区）は「ゆっくり楽しく走ります」。二回目の松田力さん（一八）（堺市）は「交通事故で出られない母の分と、昨秋に石綿で死んだ祖父（八幡屋の中田鉄夫さん）の分も頑張ります」。

午後には雨が降り出しましたが、選手たちは八幡屋商店街から築港、春日出、九条、繁栄商店街などを経て港近隣センターに至る二十四キロを、渡し船などの観光名所を観、たこ焼きなどの補給食を食べながら非計時で走行。沿道では約四百人のボランティアが誘導・医療などに活躍しました。

雨の中をゴールした反田加代子さん（五六）（高槻市）は「フルマラソンを十八回完走しましたが、こんなのんびりしたレースも素敵ですね」と話していました。

事務局によると、この大会にはネットを通じて四国や関東からも参加があり、外国人もボランティアで活躍。全国色と国際色溢れる催しとなりました。

昨年に続き事務局として運営を担った伊藤雄二さん（八幡屋商店街「光文具」店主）は「参加者には気持ち良く走ってもらえ、見る人には不況の中でも町や商店街の心意気をアピールできたのではないでしょうか」と話していました。

スポーツ短信

■区Pソフトで港南中が26年ぶりV　港区PTA親善ソフトボール大会が十月九日、八幡屋公園多目的広場などで開催。十六チームが熱戦を繰り広げた。決勝では港南中（松岡閑明監督・大内訓主将）が九対四で築港小を破り優勝。三位は田中小と港晴小。港南中は二十六年ぶり二度目の栄冠。

■港区小学生バレーボール教室「大阪みなと」　本格的バレーシーズン迎え、各大会勝利へ一丸練習。十二月は三、十七日（土）に池島小で、四、十八日（日）に南市岡小で、十、二十四日（土）に三先小で九時から練習。十一日（日）はクリスマス会。見学・体験歓迎。中学生OK。☎〇七〇・五六五九・四八三一萬井。

■大阪・港ボーイズ（少年硬式野球）中学部は十月三十日、大阪ベイタワーホテルで卒団式。在団生は本年度最後の高石大会へ猛練習。硬式に興味ある小中学生の体験練習・入部説明随時。☎六五七一―六七五三スポーツさんわ又は☎〇九〇―九六一〇―一一七七森。

■区老連ペタンク大会　港区老人クラブ連合会主催の第十六回会長杯ペタンク大会が十月二十一日、夕凪公園で開催された＝**写真**。十五チーム・五十一選手による熱戦の結果、優勝はAPM澪クラブ②、準優勝はAPM澪クラブ①、三位は三先シニアクラブ③。ペタンクは金属製ボールを標的球めがけて投げ、その近さなどで得点を競う。

■FC八幡屋（少年少女サッカークラブ）は幼稚園チームが十月十五日の大会で浜田功太選手（田中保）のハットトリックなど大活躍。二年生チームは十月十日の大会で準優勝▽体験入部随時。女子・未体験者歓迎。小学生は水木土曜十七～十九時、幼児は土曜十六～十七時に八幡屋小で練習。週一回も可。☎〇八〇―四四九九―七七三七堀之内。

■少年野球MINATO連合（港ヤンキース、福崎ヤンチャーズ、市岡アトミック、港侍ジャイアンツ、弁天ホワイトボーンズ、北恩加島少年野球部の軟式六チーム）主催の第十二回大阪市長杯・第十三回MINATO杯大会が終盤に入り、四強出そろう。舞洲スタジアムへ選手・指導者・保護者・審判員・連合役員の気持ちは一つ。☎六五七六―七一九一駿河。

■港区中学対抗ダーツ大会で港南中V　「ダーツを通じて港区の活性化を」と十月三十日、「港区中学対抗ダーツ大会」が港晴のダーツバーOhanaで開かれた＝**写真**。二十～四十代男女が出身中別に五人以上ずつでチームを結成。予選上位二チームが決勝へ。優勝は港南中（若尾、平山、中井、庭瀬、清水、木村、玉川）、準優勝は市岡東中（岩井、児玉、浅見、青山、山内）。以下、市岡中、築港中、港中の順。三本の矢を的に投げて得点を競うダーツは集中力と持続力が問われるスポーツ。その単純さと娯楽性から競技人口が増え、各地で競技会が催されている。世話役の玉川さん、大会発案者の若尾さんらは「これを機にダーツシーンが更に盛り上がり、港区の活性化にも繋がれば」と語っていた。ダーツに関する問い合わせは☎六五七四―二六七八ダーツバーT3へ。

自分史を綴って過ごす良き余生！

お話をききとり、冊子にしてお渡しします。

400字（原稿用紙1枚）で千円が標準料金です。

中学までの秀才が高校で自信を失い、卒業後はパチンコ店などを放浪した挙げ句、政治活動へ。妻と出会って家庭を持ち、活動とは縁を切りましたが、絶えず精神不安に悩まされています。今後のため、そんな半生を冊子にしてもらいました。（50代男性、総料金8万円）

港新聞・飯田編集事務所 ☎6571-4636

ボクササイズで シェイプアップ！

月会費5,000円（無期限10枚綴りチケット5000円）

入会金1万円を只今半額

練習日 月水金 PM7:30～9:30

三先2-13-9 港ボクシングジム（地）朝潮橋駅歩道橋すぐ

http://ameblo.jp/minatogym/

融資・国保のことなら…1人で悩まず

港民主商工会

労働保険のご相談も民商へ！

港区夕凪2-10-16 ☎6572-7867

募集（今年度2才児、来年度2カ月～2才児）

赤ちゃん遊んでます！

～みんなキラキラしています～

基準保育 9～16時（8～18時も可）

保育料 収入や家庭事情により決定（市から補助あり）

♪ヴァイオリンのおけいこしませんか♪

♪ピアノおしえます（中学生以上）♪

大阪市承認 人見ベビーセンター

☎6574-3423（東條）港区磯路2-10-1 電話はPM4:30～